

みどり福祉ホーム通信

みどり福祉ホーム●横浜市緑区十日市場町 808-3 Tel.045(984)7878 / にじいろ ●横浜市緑区小山町660-25 Tel.045(482)3717



新年

あけまして



おめでとう ございます



お待たせしました。お待たせしすぎたのかもれません。みどり福祉ホーム通信をご覧の方、こんにちは。お久しぶりです。にじいろが開所してから月日が経つのが早く2年経ちましたが、福祉ホームの皆さんも、にじいろの皆さんも明るく元気に過ごしています。

最近の報告としては、この数年にじいろでは、今まで活動で行っていた旅行やホーム祭り外出活動など楽しい行事が体験出来なくなってしまいました。が、少人数でランチ外出に出かけることができることになり、久しぶりのガキ中華でみんな笑顔になっていました。

そんな私たちは、福祉ホームでは週2回、街の落ち葉拾いを（緑区十日市場団地通り、並木歩道の清掃）にじいろでは月1回、十日市場にある石田公園の清掃を行っています。

街の掃除は、今年の10月から始めました。何も経験のないZEROから始めたので大変なことも沢山ありますが、いろいろな経験を積むことが出来るのも、関係者や地域の方々のおかげだと思いつつ頑張っています。

また2023年には、みどり福祉ホーム。にじいろの仲間が、20歳の新人を迎え、まだ見ぬ世界の扉を開けます。この数年、厳しい状況が続いており、楽しい思い出や経験をjする機会も少なくなっています。青春つてすごく密なので、そんな楽しいことがみんなに伝えられるなら…

そんな願いを職員・ヘルパーは思っております。





ココロはずむ アート展に 参加しています



みどり福祉ホームと
にじいろは12回目とな
る「ココロはずむア
ート展」に今年も参加し
ています。みどり福祉
ホームのある緑区、都
筑区、青葉区から12事
業所が集まり、感性豊
かな障害のある方の作
品を通して地域交流を
行っています。また、み
どり福祉ホームを会場
として「これってア
ー
トなの？」特別展を2023年3月
2日(木)〜10日(金)まで開催しま
す。今まで取り上げられていない、枠
にはまらないアート作品が並びま
す。

3月5日(日)には「触ってみよう
ワークショップ」を参加費無料で行
います。触ることから始まる表現を
地域の皆さんと共有出来たらと思
います。是非ご参加を！
045-1984-7878
までお問い合わせください。

NPO法人
みどり福祉ホーム
活動報告

落ち葉拾い はよいめました

緑土木事務所よりお仕事を頂き、10
月〜2月まで週2回のペースで落ち葉
清掃を行っています。初日は、日差し
が強く暑いくらいでしたが、季節が変
わるとともに風に乗って葉っぱがどん
どん落ちていきます。そんな様子をと
ても喜んでみている人もいれば、「秋を
見つけに行こう」と言う人。「こんこ
ん」と言いながらご機嫌に袋をもって
いる人。ホウキを持つことが少し苦手
な人。利用者の反応は様々です。お掃
除をすることで運動のきっかけにな
り、程よい疲労感ができて、夜にぐっす
り眠れた人もいます。そして、このお
仕事で何よりも大切なのは、近隣の方
がたくさん通るので挨拶ができること
です。この活動を通じて、みどり福祉
ホームの事を伝えていきたいです。



NPO:法人 みどり福祉ホームにじいろ 活動報告

山下小学校との 交流会報告

昨年(11/18)山下地域ケアラザにて、山下小学校の6年生36人と、にじいろ利用者代表3人との交流会をしました。利用者代表として長井さん・長谷部さん・大滝が参加しました。

にじいろチームと山下小学校チームに分かれて、障害者スポーツであるボッチャをしました。ボッチャとは、中心の白い球に赤と青の球を投げて、最も近くに寄せた方が勝ちというスポーツです。経験の違いと、近くで投げるハンデを受け入れてくれた生徒さん達のおかげで、にじいろチームが勝つ事が出来ました。

その後、利用者代表で参加した大滝は電動車いすサッカーの選手なので、担任の先生とサッカー好きの生徒さん2人に協力してもらい、パス回しのパフォーマンスをしました。

コロナと上手く付き合っていく中で、久しぶりに地域と関われる活動をする事が出来ました。今後もコロナに負けず気を付けながら、地域との関わりを大切にしながら活動していく所存です。

文:大滝 肇



突撃！ インターンシップの 学生に聞いてみました！

とても暑かった今年の夏、NPO法人みどり福祉ホームの2つの施設にインターンシップとして、学生さんが来てくれました。今回はその活動の様子を紹介합니다。

★インターンシップってなに？★

学生が社会に出るまでに職場体験をし、将来の仕事を探す機会を与える制度。

本公本さんに聞いてみよう！

インターンシップに来てくれた松本さんにインタビューをしてみました。

Q1 自己紹介をお願いします。

専修大学3年文学部歴史学科の松本晏弥(あみ)です。

Q2 大学での研究内容は？

日本中世史(平安時代～戦国時代)を勉強しています。

Q3 趣味は？

宝塚鑑賞です。ファンになって生で観劇したのは2回だけなので、たくさん観たいです。

Q4 好きな歴史上の人物は？

新選組・三番隊長の斎藤一(はじめ)です。

Q5 インターンシップをこの施設に決めた理由は？

地域住民と障害者施設が、互いに理解し交流していくために今後どんな事が必要となるのか、足を動かし目で見て学びたいと考えた為です。



ここに来て 感じた事・体験した事

はじまったばかりの頃は、このインターンシップ先があったのか心配の方が多く、家族に話す事は活動内容ではなく、10日間やっていけないかもしれないという不安についてでした。しかし、ミキサー食作りのお手伝い・車いすで利用者さんとの散歩・利用者さんのお食事のお手伝い・トイレ介助・利用者さんのお宅訪問などといった経験をさせていただきつれて、家族に話すインターンシップ先の内容が変わってきました。ホームで経験させてもらったこと、利用者さんと話したこと、自分の将来の職業について、将来自分が子どもを産む選択をしたときについてなどといった楽しい話題や将来についての深い話を語るようになりました。

みどり福祉ホームさん・にじいろさんから沢山の経験をさせてもらったことにより、普段自分からは話せないことも家族に語る時間もつくれました。今後は、家族だけではなく学校の友人互いにインターンシップで得たことを語りあい、みどり福祉ホームさん・にじいろさんでの楽しい思い出を広めていきたいと思ひます。

こんにちは

さくらんぼ会



〒226-0025 横浜市緑区十日市場町808-3 みどり福祉ホーム内 ☎045-984-0801
ホームページ sakuranbokai.jimdo.com/ 「さくらんぼ会」で検索

新年明けましておめでとうございます。さくらんぼ会です。毎日、たくさんの子供達が訓練室や交流室を使わせていただいています。所長の鈴木さんや職員の方々が声をかけていただき、ありがとうございます。

昨年、さくらんぼ会創設者辻先生のお別れがありました。少しづつ悲しみを乗り越え、前を向いて歩きだしています。幼児では、お芋ほりや春と秋に収穫体験することができ、子ども達ははしゃぎの一日でした。

2年ぶりの夏期合宿は各クラスの子も達を、学年別に振り分けての交流ができました。運動、ゲーム、買い物、調理入浴、就寝準備と、自主的に動く姿は成長を感じます。

職場体験実習では、働く青年たちの中で、汗いっぱいになりながら頑張りました。児童では陣馬山にチャレンジしました。昨年の弘法山に比べて、高さも距離も長く、大丈夫かなと不安もありましたが、皆さん無事に山頂まで登ることができました。山頂では快晴に恵まれました。山頂くっつき見えしました。お腹を空かせて食べたお弁当、とても美味しかったです。道中も子ども達の元気がたくましく歩く姿を見ることができました。転んでもすぐに起き上がり、落ち葉、見たことのない虫など、小さな探検家たちは全くと逆になんか元気な気がしました。

今年も、一歩ずつですが、子ども達、親御さんに寄り添いながら、切磋琢磨し、喜怒哀楽を共感し、子どもの成長のためにできることを精一杯やってみようと思います。

通常の生活になりつつある今、子ども達の悩みや、困りごと、辛いことに耳を傾け、自信をつけていく、笑顔を増やしていく、社会に出た時、自立した時に自由に、生き生きと暮らしてほしい。そのためには「できた！」の体験が必要ですよ。どんなことでも、これだけは得意、自信がある、好きだから続けられる。そんな自分の中にある「力」を見つけていきたいと思っています。

絵画や習字、工作や手工芸水泳にマラソン、青年になった卒業生たちは、今も働きながら趣味として続けています。

先日の陣馬山、登山が趣味の青年たちも参加しました。働く姿とは別の、のびのびとして、笑顔いっぱいの子供たち、さくらんぼ会の後輩たちと一緒に歩きました。

幼児から、さくらんぼ会の山歩きを経験していると、子ども達も心身ともに成長していく姿がよくわかります。特に気持ちの面の成長は著しいです。お友だちに優しくなったり、我慢ができるようになった、みんなの前で大きな大きな声がでるようになった、お母さんからの報告は嬉しいですね。山頂に到着した時の「やった！」の気持ちを共感すると「あの笑顔をもう一度見たい」という気持ちにさせてくれる子ども達には、本当に不思議な「力」があります。

さくらんぼ会では、体験保育を実施しています。いつでも見学可能ですので、子育ての中で疑問や悩みをお持ちのお母様たち、ぜひ遊びに来てください。

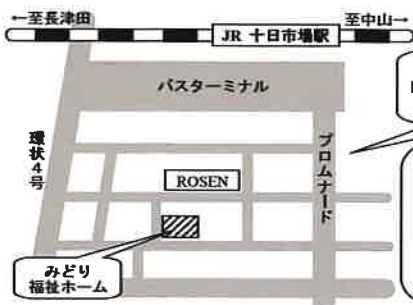
また、子育てを応援して下さい。ヘルパーさんも、募集しています。興味のある方は是非ともご連絡をお待ちしております。

☆幼児クラス 水曜日・木曜日
午前9時半～2時

☆小学クラス 火曜日・金曜日
午後3時半～6時

詳しくはお問い合わせを。

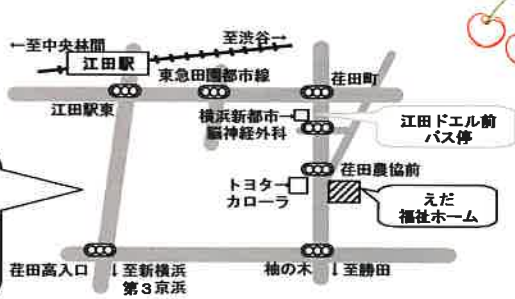
★ みどり福祉ホーム 045-984-0801



<みどり福祉ホーム>
JR横浜線『十日市場駅』より徒歩5分

<えだ福祉ホーム>
・東急田園都市線『江田駅』より徒歩15分
・バス東急バス綱島行き『江田ドエル前』下車2分
・横浜市営地下鉄『中川駅』より徒歩15分

★ えだ福祉ホーム 045-911-6968



みどり福祉ホーム にいいいいいい 地域交流イベントビュー

にじいろのお隣にお住まいの家庭防災員の樋口美根子・直樹さん夫妻へにじいろ広報部がインタビューをしました。

家庭防災員とはどんな役割でしょうか？

「災害時に要援護者や住民の安否確認などの連絡を町内会とつなぐ役割をします。また防災訓練の際など黄色いハンカチを各ご家庭にて配布してあるので家の前に出してもらおうことにより無事の印としています」



11月に行われた小山町防災訓練

「にじいろの印象は？」

学校みたいな感じですかね。わいわいとにぎやかな様子です。

「小山町のおすすめスポットは？」

近くの川、堤防ですね。シラサギ、アオサギなどが見られます。

「好きなお酒はなんですか？」

芋焼酎のアカネ霧島、日本酒、梅酒なんでも飲みます。

「趣味はなんですか？」

(直樹さん) 工作ですかね。ちよつとしたものを修理したり、物を工夫して作るのが好きです。
(美根子さん) お花の手入れ、最近はしていないけれどトールペイントやクレイクラフトなど。

「お笑い芸人に好きな人はいますか？」

「あの人！あの宮城出身のだれだっけかな、サンドウィッチマンだ。」(直樹さん・美根子さん)

「小山町はどのくらい住んでいますか？」

(直樹さん) 夫婦で27年ぐらい住んでいます。
(美根子さん) 子どもの時は小山町に住んでいて、実家が近くにありません。

・とてもお庭がきれいな樋口さん、園芸もおしえてもらいたいです。これからもよろしくおねがいします。

インタビューアー 大滝・長谷部・平林

記事 平林



左上から樋口美根子さん・直樹さん 他広報部員と

みどり福祉ホーム 地域交流

障害者週間

今年の障害者週間は、十日市場地域ケアプラザで利用者さんの作品を展示しました。1階が図書館ということもあり、たくさんの方に利用者さんの作品をみてもらうことができました。利用者さんもお散歩がてら、作品を見に行きました。



ヤーンボミンブリック

十日市場のまちを彩る「まちなかアート」に参加しました。活動で作ったタッセルをみどり福祉ホーム敷地内の木に飾りました。



避難先 川原東

3年ぶりに地域防災拠点(十日市場小学校)への避難訓練に参加しました。その後は、みどり福祉ホームに戻りライフラインが停止した状態で過ごし非常食を食べる訓練をしました。



Question

新しい 支援者



1. 好きなアーティストは誰ですか？
2. 好きなコンビニスイーツは何ですか？
(コンビニスイーツがなければ、好きな食べ物をお願いします)
3. みどり福祉ホームの印象は？
4. 意気込みをお願いします！

(質問は鈴木恵さんと考えました)

みどり福祉ホーム 支援ヘルパー 氏本ゆかりさん

1. レキシ 曲が素敵で歌詞が面白くて最高です。
2. セブンイレブンのワッフル、みかんの牛乳寒天が好きです。
3. みなさん元気でにぎやか。
4. いろんなご縁が繋がって、福祉ホームの一員になれたことをとてもうれしく思っています。どうぞよろしくお願いします。



みどり福祉ホーム ドライバー 松尾哲宗さん

1. フルノ・マーズ
2. チーズケーキ
3. アットホームな感じ
4. 運転頑張ります。



みどり福祉ホーム 配膳ヘルパー 小嶋寿美子さん

1. サザンオールスターズ
松任谷由実
中島みゆき
2. ふんわりワッフル(中にカスタードホイップが入っています)
マスカット(ぶどう)
3. 利用者さんが元気で明るく、楽しく活動している。職員さん、ヘルパーさんが一人一人対応の仕方を考えて接している。素晴らしい。
4. 新人です。お昼の給食・配膳の仕事をしています。楽しく仕事をしていこうと思います。



みどり福祉ホーム 支援ヘルパー 神田智子さん

1. 娘のアイドル活動を応援中
(www.tavata.jp 神田ぶなむ)
2. ラーメン
3. 利用者の方にとっても手厚く親切で、家族みたいな所
4. 皆様のお力になれるよう頑張ります。



みどり福祉ホーム ドライバー 酒井純さん

1. 麻丘めぐみさん
2. 焼きいも
3. にぎやかな所だと思います。
4. みなさんに信頼されるように頑張ります。



ありがとう
ございました!



寄付・助成金の報告

- 木下財団様
みどり福祉ホーム
- ・エアコン1台・壁掛け扇風機1台
- ・サーキュレーター2台

- あすなる福祉財団様
にじいろ2階リフト1台設置費助成
- 職員表彰 荒木傑

編集後記

今回の号は、社会・地域へ飛び出て行くぞ感の満ち溢れすぎたフラボーな仕上がりとになりました。
3年ぶりに世の中では、制限のない普通の生活を取り戻しつつあります。これまでに活動してきた私たちも動かない訳にはいきません。今回のホーム通信を皮切りに、止まりかけていた時計の針をぐるぐる動かすくらい楽しむ事をこの冊子を見ている方たちに誓い、編集後記とします。

広報部利用者代表 大滝臺